

令和元年度～令和７年度　森林環境譲与税に関する状況

区分	令和元年度～令和６年度	令和７年度	計	令和７年度末時点 活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	787,540,240	172,839,226	960,379,466	96%	【市町村への支援】 航空レーザデータを用いた解析業務を推進し、高精度な森林資源データを森林クラウドシステムへ搭載することにより、市町村における森林経営管理制度の業務効率化を図る。
譲与額（円）	830,321,000	167,695,000	998,016,000		

令和７年度　森林環境譲与税に関する状況

事業名		事業内容・実績など	事業費 (円)
Ⅰ・林業担い手の確保・人材育成	「わかやまの森」次世代人材確保支援事業	【都市部での情報発信と林業就業へのトータルサポート】 都市部への林業就業PRとセミナーおよび就業相談会の開催 ・セミナー：9回(78名)　・就業相談会：2回(36名) ・県林業PRのためのSNSによる情報発信、HPの更新、著名人による紀州林業の情報発信	91,547,445
		【林業無料職業紹介事業運営】 わかやま林業労働力確保支援センターで林業に特化した職業紹介機能および、Webサイト「わかやま森の職業紹介ナビ」を運営 ・職業紹介マッチング人数：11名	
		【わかやま林業就業サポート講習】 林業への就業に関心のある者を対象とした1日または6日間の林業体験講習 ・実施回数：5回 ・受講者数：延べ21名	
		【県内高校生向けの林業講座】 林業を将来の就業先の1つとして県内高校生に周知するため、総合学習の授業などで「森林」や「林業」についての学習を導入する高等学校を支援 ・実施校数：7校、86名	
		【新規就業希望者への就業支援】 農林大学校林業研修部林業経営コースにおける研修期間中に使用する安全保護具の購入支援及び林業新規就業者に対する安全保護具の購入支援 ・支援対象：研修生8名、新規就業者4名	
	農林大学校林業研修部事業	【最先端林業を学べる環境整備】 農林大学校林業研修部において、最先端の林業研修を行うための機材等を整備(林業用トラックの購入)	
【林業経営コースの研修内容拡充】 木材流通における最下流からの視点を養う木造建築研修、森林3次元計測システムを活用したレーザ計測研修等を令和元年度から実施			
森林・林業雇用総合対策事業	【新規就業者育成能力向上研修】 林業現場において、新規就業者の育成方法の確立と指導者育成のための研修を実施 ・研修受講者：10名		
	【林業経営人材の育成研修】 林業事業体の事業管理者や実務者を対象に、林業経営にかかるコスト管理や事業決算書作成等の演習を実施 ・研修受講事業体数：7団体（新規3、フォローアップ4）		
Ⅱ・市町村への支援	森の守り人支援事業	【市町村職員等研修・市町村支援業務】 森林経営管理制度の円滑な実施を行うため、市町村職員等を対象とした研修を実施 ・研修：6回（市町村職員8名・民間技術者26名 延べ204名）	78,953,600
		【森林資源情報整備・精度向上】 森林クラウドシステムの保守管理 既存の航空レーザ測量データを活用して森林資源解析を行い、森林クラウドシステムにデータを搭載	
		【公共施設木造化相談窓口】 市町村の公共建築物の木造化・木質化の促進に向けた技術的支援を実施 ・相談件数：17件 ・講演会：2回	
Ⅲ・その他の取組	森の守り人支援事業	【紀伊半島3県共同研究】 紀伊半島3県の共通課題に対し実行委員会による共同研究を以下のテーマで実施 ・「紀伊半島3県における早生樹導入ガイドライン」の作成（研究期間：R7）	2,338,181
		【制度の普及啓発等】 森林経営管理制度の普及啓発活動を実施	
合　計			172,839,226

森林環境譲与税活用の効果

・ 県内30市町村のうち17市町において森林経営管理意向調査が実施されるとともに、13市町村において森林経営管理権集積計画が作成された。 また、市町村森林経営管理事業が17市町村で実施され、補助事業も含め22市町村において森林整備が進められた。 ・ 和歌山県林業のPRに努めた結果、令和7年度は52名の新規就業者を確保することができた。また、令和7年度の農林大学校林業研修部への入講者数は8名であった。
